

第4回別海町自治推進委員会 概要

開催日時：平成25年12月18日（水）午後1時30分～午後2時50分

開催場所：別海町役場 1階 101・102会議室

出席人数：10名（欠席4名）

<会議次第>

1 開 会 （司会 総合政策課長）

2 議 事

議題1 前回のふりかえり（報告）

議題2 別海町自治基本条例運用状況に関する意見について

議題3 その他

3 閉 会

～議題1及び議題2議事の概要～

前回の会議で出た意見を簡略に振り返り、「別海町自治基本条例運用状況に関する意見書」の記載内容について確認。

（内容要旨）

委員

- ・「意見書」の協働のまちづくりを進め方に対する意見の（2）について、自治基本条例の主旨がなかなか町民に浸透されていないというのが本委員全員の意見。浸透させる工夫として、各組織のトップ同士が昼食を取りながら情報交換を行うといったような機会を設けてはどうか。
- ・各種行事で祝辞等を行なう際に、皆さんが行なっている取り組みを具体的に挙げ、「こういうことが協働」という一言が入れば、もっと理解できる。

委員長

- ・この2つの意見は、そういった取り組みも行なって欲しいという提言。意見書に追加するか、あるいは、意見書には書かず、提出の際に口頭で伝えるか。

委員

- ・町にはいろんな課があり、町民と話をする機会の多い課長級の方々にもそういった言葉を使ってもらいたい。
- ・具体的に箇条書きなど別紙で提示したほうがしっかり伝わるのでは。
- ・意見書の内容は他にもあり、この部分のみ具体的に書くのは馴染まないのでは。

事務局

- ・庁内に協働を浸透させるための検討組織が作られており、町長へ意見書を提出する際同様、その会議の中で伝えていきたいと考えています。

委員長

- ・他の自治体の意見書は、この内容の半分又は3分の1程度で大まかなもの。箇条書きにしないほうが幅広くとらえてもらえるように思う。本日出た新たな2つの意見は、きちんと何らかの形で伝えることとし、意見書の内容はこのままとしたい。

事務局

- ・提出方法については、他の意見書等と同様に委員長と副委員長が代表して提出してもらうこととします。

委員

- ・意見書を出した後は、どう扱われるのか。

委員長

- ・意見書は、要請書とは違い、受け取った側からいつまでにどうするといった回答は来ないもの。

事務局

- ・来年度の会議の際に、意見書の内容がどう取り組まれたか確認することは必要だと思いますが、意見書というのは、行政やまちづくりにこういう観点から反映して欲しいというもので、日々をかけてそのかたちが見えてくるものであり、結果としてすぐ成果の出せるもの・出せないものがあるかもしれないことをご理解願います。

～議題3 議事の概要～

平成 25 年度の自治推進委員会は第 4 回を持ち終了となることから、次年度以降の委員会運営について、「意見書」作成の他、今年度に取り組んでいない検討事項の協議・設定や委員研修を実施したい旨説明。参考として委員からの意見・要望を募る。

(内容要旨)

委員

- ・他町で素晴らしい取り組みがあってその事例を見るのも良いが、本町でも同じことを行っているかもしれない。そういったことでも見えていない部分があるので、町内のどこの地域で、どのような人が、どのような活動を行っているか知りたい。
- ・まちを理解することが専決。自分たちの行動範囲しか分かっていないので、自治推進委員はいろいろなところへ行き、見る・聞くということが必要。
- ・研修先について、委員自身次年度に向け情報収集したら良いのでは。

事務局

- ・町では、公募型補助金を活用した団体の報告会開催を予定しており、自治推進委員の皆さんにご案内いたします。報告会は、今年実施された方、補助回数3回に達し補助金が終了した団体も継続されているかを含め、活動を発表する機会にしたいと考えています。そういった場を設け、補助金制度を活用する団体が増えることや団体の活動を今まで知らなかった人知ってもらい、他から興味を持たれ活動の幅が広がるといった狙いがあります。発表だけでなく、プラスαとして講師を呼ぶ、パネルディスカッションを行なうなど、より多くの人に来てもらえるよう組立たいと考えています。

委員長

- ・来年度はもう一歩踏み込んだかたちで活動することとなる。

